



群馬県立がんセンター

消化器外科通信

Vol.12
2024.11.



群馬県立がんセンター
副院長 尾嶋 仁

海外での紛争等情勢が不安定な中、日本国内では、感染症対策は皆十分熟知し、感染症と共存しながらの日常生活、インバウンドによる観光地の激混み等平和な生活を送っているものと思われます。こういう時期だからこそ健康に目をむける必要があります。検診等による予防医学の必要性、早期発見による根治を目指した治療により健康寿命の延長を目指す必要があります。

今回の外科通信では、ロボット支援手術（ダビンチ）の現状、食道癌、大腸癌治療、ロボット支援下手術の利点、新任医師の紹介、現在行われている臨床試験を紹介したいと思います。

1. 手術支援ロボット ダビンチ/鏡視下手術の現状

◆2019年9月から2024年10月までのダビンチ手術（肝胆脾は鏡視下手術）の実績

食道癌:106例 胃癌:123例 結腸・直腸癌:370例

腹腔鏡下肝切除手術:24例 腹腔鏡下脾切除:5例

◆食道癌、胃癌、結腸直腸癌でダビンチ手術指導者のプロクター取得

大腸癌ダビンチ術者:5名 胃癌ダビンチ術者:3名 食道癌ダビンチ術者:2名

〈日本ロボット外科学会専門医〉国際B級:1名 国内A級:1名

食道癌では100%、直腸癌では95%以上、胃癌手術では全体の75%、ロボット/鏡視下手術で行っています。

2. 2024年7月よりDa Vinci Xi 2台で稼働

消化器外科、呼吸器外科、泌尿器科でロボット支援手術を行っていますが、手術の増加により2台体制になりました。並列、縦での手術が可能です。

3. 食道癌治療

群馬県内で日本消化器内視鏡外科学会技術認定医を食道癌で取得している医師は2人のみで、群馬県立がんセンターに在籍しています。

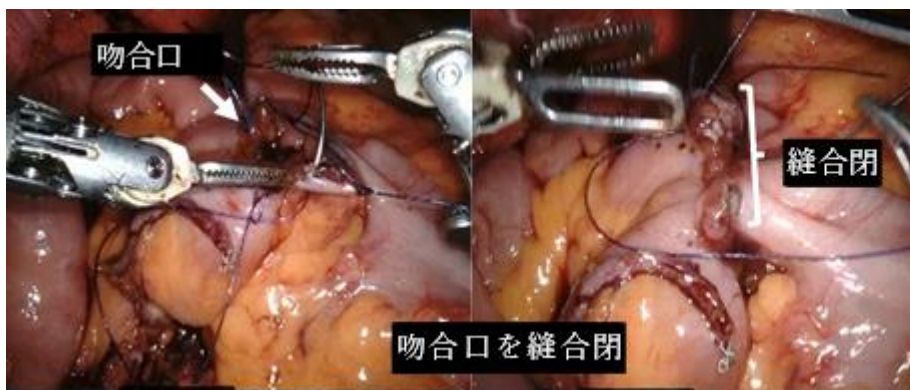
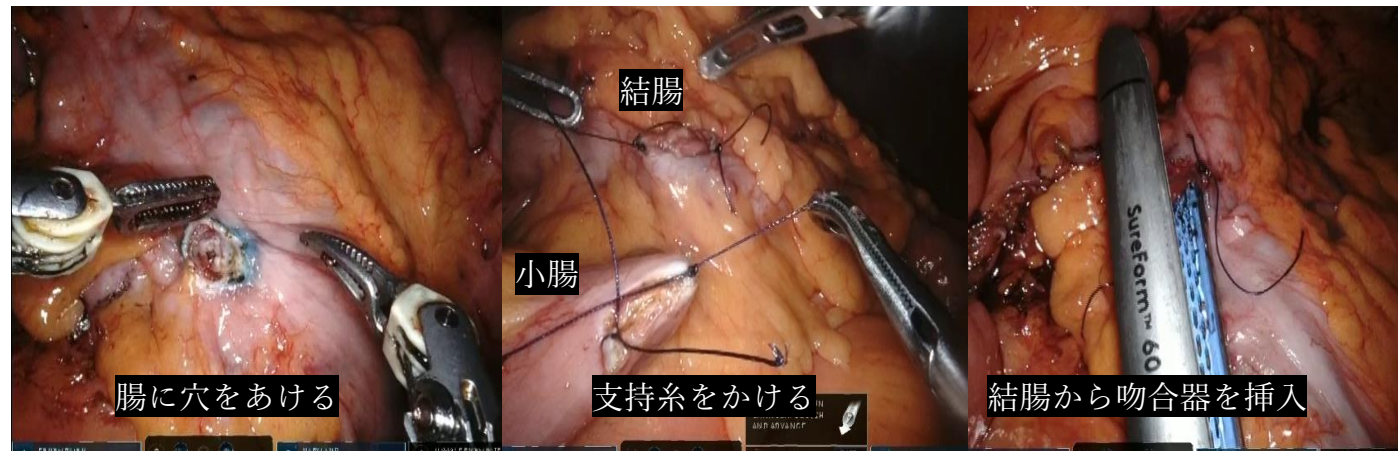
食道癌手術は非常に難易度の高い手術です。消化器外科医が行いますが胸腔内の操作が必要で緊急時の対応を考慮すると、消化器外科、呼吸器外科、循環器科の知識が必要になります。

日本内視鏡外科学会では技術認定医制度があり、各臓器で自己の手術症例を提出して基準に達すると認定されます。群馬県において食道癌手術で技術認定医を取得しているのは2人のみで、群馬県立がんセンターの尾嶋 仁、宗田 真です。

当センターでは2009年より食道癌は全例鏡視下手術で行っており、2019年よりロボット手術に変更し100例以上の経験があります。難易度の高い手術だからこそ、経験と技術のある施設での治療が必要です。また、手術、抗がん剤治療、放射線治療を包括的に行う必要があり、全ての治療において欠くことができません。手術のみでなく手術前後の治療が必要だからこそ専門病院の力が発揮できます。

4. 大腸癌治療

ロボット支援手術の利点として直腸の空間の狭い骨盤内の手術など適しています。DaVinci Xi 2台体制により、結腸癌でも積極的に行うようになりました。結腸癌手術での利点は細かい操作が可能なロボット支援手術では体腔内吻合が容易であり、体腔外吻合と違い創が腫瘍取り出しただけなので小さくてすみます。



5.ロボット支援下手術の利点

3Dハイビジョン画像による安定した視野確保

手ぶれ防止機能で細かい操作が安全に可能

- 食道癌反回神経周囲リンパ節郭清（神経損傷の軽減）
- 胃癌全摘の体腔内吻合
- 直腸癌で空間の狭い骨盤内の手術などに適しています

6.新任医師紹介



消化器外科部長 宗田 真

2024年7月1日より赴任いたしました、宗田 真と申します。生まれは福島県の過疎の村で群馬大学を卒業後にそのまま群馬での外科医療を行なってきました。趣味はランニングとスポーツ観戦で、最近ではゴルフにも注力し練習に励んでおります。職歴としては群馬大学総合外科学講座の医会の一員として、現在まで群馬及び埼玉県の関連病院での研鑽を行い、近年は群馬大学医学部附属病院で長く消化器外科医療に携わってきました。がんセンターには13年前に一度勤務経験があり、馴染みのある病院に戻ってきた感覚で楽しく充実して診療にあたらせて頂いております。がんセンターの一員として、そして消化器外科医として一人でも多くのがん患者様に、よりよい医療を提供できるよう努力していきたいと思いますので何卒よろしくお願い致します。

【消化器外科外来担当医表】

(令和6年11月)

月	火	水	木	金
		尾嶋 仁	尾嶋 仁（新患）	尾嶋 仁
		宗田 真	宗田 真	宗田 真
		榎田 泰明	榎田 泰明	榎田 泰明
		渡辺 亮	渡辺 亮	渡辺 亮（午後）
		髙田 考大	髙田 考大	髙田 考大
		鈴木 雅貴	鈴木 雅貴	鈴木 雅貴

臨床試験対象の患者さんを紹介して下さい！

〈未治療の患者さんが対象です〉

- ・再発、切除不能食道癌 (stage IV) の患者さん
- ・食道扁平上皮癌 (stage II-III) で、根治的放射線化学療法対象の患者さん
- ・進行直腸癌で術前治療が必要な患者さん
- ・下部直腸癌で周囲浸潤、遠隔転移がなく人工肛門(手術)を回避したい患者さん

【食道癌】

食道癌関連 phase 1a study (再発、切除不能食道癌 stage IV)

固形癌患者を対象とした安全性、忍容性及び有効性を評価するTAS-102/MK-3475併用療法の臨床第1b相試験 (MK3475-990)

進行固形癌患者を対象としたAB122プラットフォーム試験. Phase.1a/b study

【胃癌】

術後補助化学療法中または終了後早期に再発した胃癌に対するCapeOX+ニボルマブ療法の第Ⅱ相試験

【大腸癌】

JCOG2207

臨床病期Ⅲの下部直腸癌に対するtotal neoadjuvant therapy (TNT) および選択的側方リンパ節郭清の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

JCOG2004

切除不能進行・再発大腸癌に対する二次化学療法におけるFOLFIRI療法と併用するVEGF阻害薬(ベバシズマブ、ラムシルマブ、アフリベルセプト)の選択に有用なバイオマーカーを探索するランダム化第Ⅱ相試験

JCOG2006

切除可能な局所高度進行結腸癌に対する術前mFOLFOX6療法と術前FOLFOXIRI療法のランダム化第Ⅱ相試験

JCOG1805

再発リスク因子を有するStageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関するランダム化第Ⅲ相比較試験

JCOG1801

直腸癌局所再発に対する術前化学放射線療法の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

大腸癌研究会プロジェクト研究

「直腸癌治療における側方郭清に関する前向き観察研究」(PLANET study)

CIRCULATE試験

遺伝子検査によるスクリーニング

遺伝子異常情報・臨床情報を大規模データベース化

GALAXY試験

根治的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたリキッドバイオプシーによるスクリーニング研究

【お問い合わせ先】

群馬県立がんセンター 消化器外科 尾嶋 仁

住所: 〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1 TEL: 0276-38-0771(代表) FAX: 0276-38-0614

- ・診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL: <http://www.gunma-cc.jp>

TEL: 0276-38-0771(代)

予約専用電話: 0276-38-0762

